

## 上海の経済状況と発展戦略に関する講演会を開催

開催日：2018年4月10日(火)  
場所：経団連会館  
来賓：陳子雷 上海对外経済貿易大学教授

経済広報センターは4月10日、上海对外経済貿易大学の陳子雷教授を招き、「中国上海の経済状況と今後の発展戦略」と題する講演会を開催した。陳教授は、同大学の日本経済研究センターの主任を務め、日中間の経済関係にも詳しい。

陳教授は、中国経済が高成長から「新常态」といわれる安定成長に移行したことに触れたうえで、「今後の経済成長のためには、外資製造業の輸出主導ではなく、サービスの高度化が必要だ」と述べた。そして、「上海は、他の地域に比べてサービス産業がいち早く発展していることから、2013年に設立された上海自由貿易試験区により、中国全体のサービス産業振興を牽引する役割が期待されている」とした。

また、上海市が現在、中央政府の指針のもと、「自由貿易港」の建設を準備していることを紹介。この計画は、「世界第1位の貨物取扱量を誇る上海港と世界の空港で貨物取扱量第3位の浦東空港を組み合わせた『海港+空港』の自由貿易港の構想」であるとし、「両港で扱う物品の移動を自由にすることで貿易に付随するサービス業や製造業の一層の強化を目指す」と述べた。



加えて、「習近平国家主席は、上海に対して、大型旅客機や乗用車の生産、バイオ産業など先端分野の製造業の振興も期待している」とサービス産業以外の重点分野も明示した。

以上